

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【公開番号】特開2003-241536(P2003-241536A)

【公開日】平成15年8月29日(2003.8.29)

【出願番号】特願2002-43855(P2002-43855)

【国際特許分類】

|               |              |                  |
|---------------|--------------|------------------|
| <b>G 03 G</b> | <b>15/16</b> | <b>(2006.01)</b> |
| <b>G 03 G</b> | <b>15/01</b> | <b>(2006.01)</b> |
| <b>G 03 G</b> | <b>15/02</b> | <b>(2006.01)</b> |
| <b>G 03 G</b> | <b>21/14</b> | <b>(2006.01)</b> |

【F I】

|        |       |         |
|--------|-------|---------|
| G 03 G | 15/16 |         |
| G 03 G | 15/01 | Y       |
| G 03 G | 15/01 | 1 1 4 B |
| G 03 G | 15/02 | 1 0 2   |
| G 03 G | 21/00 | 3 7 2   |

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月26日(2007.3.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】像担持体と、前記像担持体に当接して移動しうる回転体と、を有し、前記回転体のヤング率が1GPa以上、3GPa以下、且つ、前記像担持体のヤング率が70GPa以上、220GPa以下である画像形成装置において、

前記像担持体と前記回転体の起動時における加速時及び停止時における減速時に、それぞれの周速を略等速とするべく制御を行うことを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】前記回転体は、前記像担持体上に形成される現像剤像が転写される記録材を前記像担持体との対向位置へ搬送するための記録材搬送手段であることを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】像担持体と、前記像担持体を帯電させる帯電手段と、前記像担持体に当接して移動しうる回転体と、前記回転体を介して前記像担持体に対向し、前記像担持体上に形成される現像剤像を被転写体に転写させる転写部材と、を有し、前記回転体のヤング率が1GPa以上、3GPa以下、且つ、前記像担持体のヤング率が70GPa以上、220GPa以下である画像形成装置において、

少なくとも前記像担持体と前記回転体の起動時における加速時及び停止時における減速時には、前記帯電手段に印加するバイアス及び前記転写部材に印加するバイアスを画像形成時に印加するバイアスよりも弱めるか若しくは該バイアスを印加しないように制御することを特徴とする画像形成装置。

【請求項4】前記回転体は、前記像担持体上に形成される現像剤像が転写される記録材を前記像担持体との対向位置へ搬送するための記録材搬送手段であることを特徴とする請求項3に記載の画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

【課題を解決するための手段】

上記目的は本発明に係る画像形成装置にて達成される。要約すれば、第1の本発明は、像担持体と、前記像担持体に当接して移動しうる回転体と、を有し、前記回転体のヤング率が1GPa以上、3GPa以下、且つ、前記像担持体のヤング率が70GPa以上、220GPa以下である画像形成装置において、前記像担持体と前記回転体の起動時における加速時及び停止時における減速時に、それぞれの周速を略等速とするべく制御を行うことを特徴とする画像形成装置である。本発明の一実施態様では、前記回転体は、前記像担持体上に形成される現像剤像が転写される記録材を前記像担持体との対向位置へ搬送するための記録材搬送手段である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

第2の本発明によれば、像担持体と、前記像担持体を帯電させる帯電手段と、前記像担持体に当接して移動しうる回転体と、前記回転体を介して前記像担持体に対向し、前記像担持体上に形成される現像剤像を被転写体に転写させる転写部材と、を有し、前記回転体のヤング率が1GPa以上、3GPa以下、且つ、前記像担持体のヤング率が70GPa以上、220GPa以下である画像形成装置において、少なくとも前記像担持体と前記回転体の起動時における加速時及び停止時における減速時には、前記帯電手段に印加するバイアス及び前記転写部材に印加するバイアスを画像形成時に印加するバイアスよりも弱めるか若しくは該バイアスを印加しないように制御することを特徴とする画像形成装置が提供される。本発明の一実施態様では、前記回転体は、前記像担持体上に形成される現像剤像が転写される記録材を前記像担持体との対向位置へ搬送するための記録材搬送手段である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】削除

【補正の内容】